

工学研究科博士前期課程総合工学専攻構造工学コース1年の
蘇武臣太郎さん、長島和輝さん、村上心さんが銀賞を受賞しました。



左から長島和輝さん、蘇武臣太郎さん、村上心さん

工学研究科博士前期課程総合工学専攻構造工学コース1年の蘇武臣太郎さん、長島和輝さん、村上心さんの3名は、平成26年12月6日に開催された第12回「学生ものづくり・アイデア展 in 長崎」において、工学研究科技術者・研究者実践科目「総合工学演習」（アドバイザー教員：扇谷保彦准教授）で製作に取り組んだ作品「新しいシャープペンシルの構造の提案」を出展し、銀賞を受賞しました。

「学生ものづくり・アイデア展」は、長崎大学、新潟大学、富山大学の3大学の学生が課題探求や創作活動に主体的に取り組んだ成果をコンテスト形式で競い合うイベントであり、今年度は20チームが作品を出展しました。

銀賞は参加チームの中で金賞に次いで高い評価を受けた1チームに授与される賞です。「新しいシャープペンシルの構造の提案」のチームは、ロック式シャープペンシルでは芯の送り出し機構の制約上、1本の芯を最後まで使い切ることができずかなりの部分が無駄になるという問題に対し、従来品とは全く異なる送り出し機構を考案し、その解決を図りました。コンテストでは従来品の送り出し機構の分析および性能評価を行った上で、従来品の送り出し機構に代わるものとして提案された機構（アイデア）の斬新さが高く評価されました。